



2010年5月28日

各 位

会社名 株式会社日立物流
代表者名 執行役社長 鈴木 登夫
(コード番号 9086 東証第1部)
問合せ先 人事総務本部
課 長 柿野 憲昭
(TEL:03-5634-0307)

インドの物流会社の株式譲受で基本合意

－インド物流事業を強化・拡大－

株式会社日立物流(代表執行役社長 鈴木 登夫)は、グローバル戦略の一環として、2007年11月にインドの首都ニューデリーに本社を置く日立物流(インド)を設立し、家電、生活用品メーカーなどを対象に3PL事業を展開しておりますが、経済成長著しいインドでの物流事業をさらに強化するため、インドの大手フォワーディング会社であるFlyjac logistics Pvt. Ltd. (代表者 Lalit C. Jobanputra、以下Flyjac社)の全株式を譲受することで基本合意いたしました。

Flyjac社は、インド最大の経済都市ムンバイと自動車・IT産業が盛んな南部のチェンナイなどを主要拠点とし、インド国内の企業だけでなく、欧米企業も対象としている優良企業であります。インド全域で、日系企業が多く進出する工業団地など、製造拠点近くに数多くの営業拠点を有しており、世界各地57ヶ国の代理店とのネットワークを効率的に活用したドア・ツー・ドアのサービスを強みとしております。

これにより、インドを拠点としたFlyjac社のフォワーディングネットワークと、日立物流(インド)の3PL運営力を融合させることで、シナジー効果を活かした事業拡大が期待できます。また、インド国内の営業拠点と世界各地を繋ぐ高品質な陸海空一貫輸送が可能となり、インド国内だけでなくグローバル物流事業のサービスレベル向上、競争力強化を図ってまいります。更に、日立物流(インド)とFlyjac社で共同営業を積極的に推進し、日系の優良顧客への3PL事業拡大に繋げてまいります。

当社は、2008年2月に東欧チェコの物流会社ESA社を連結化、2009年4月には中国中西部(内陸部)の河南省に合弁会社を設立、2009年10月に米国中西部のJPH社を連結化するなどシステム物流事業のグローバル化を推進してまいりました。引続きグローバルシステム物流事業の更なる強化・拡大に務め、「真のグローバル企業」を目指してまいります。

【参考】Flyjac社 会社概要 (1INR=2円で換算)

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| (1) 会社名 | Flyjac logistics Pvt. Ltd. (株式会社) |
| (2) 創 業 | 1990年 |
| (3) 本 社 | インド・ムンバイ |
| (4) 代 表 者 | Lalit C. Jobanputra |
| (5) 事業内容 | 航空・海上フォワーディング事業 等 |
| (6) 資 本 金 | 2億6,200万 INR (約5億2,400万円) |
| (7) 売 上 高 | 36億7,900万 INR (約73億5,800万円) ※ |
| (8) 営業利益 | 2億2,700万 INR (約4億5,400万円) ※ |
| (9) 従業員数 | 770名 |
| (10) 事業拠点 | インド国内25拠点 |

※ 売上高・営業利益…[2008年実績(決算期:3月)]

以 上